

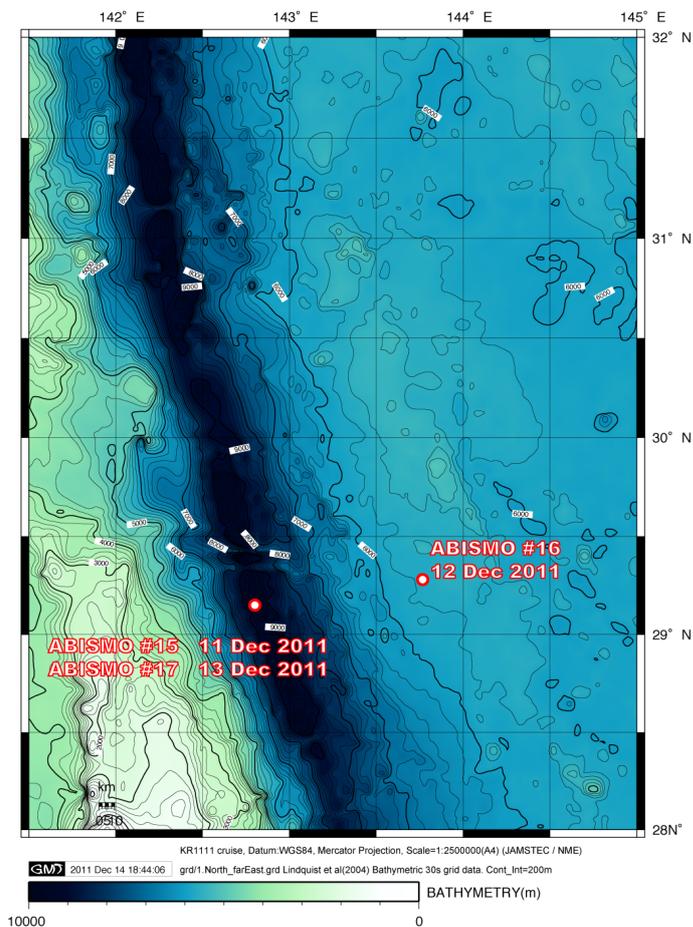
提出日：平成 24 年 1 月 12 日

クルーズサマリー

1. 航海情報

- 航海番号 KR11-11
- 船舶名 かいれい
- 航海名称 小笠原海溝微生物・地球科学調査
- 首席研究者 [所属機関名] 布浦 拓郎 [海洋研究開発機構]
- 課題代表研究者 [所属機関] 布浦 拓郎 [海洋研究開発機構]
- 研究課題名 : 「海溝生命圏は存在するのか? -小笠原海溝微生物・地球科学調査-」
- 航海期間 平成 23 年 12 月 8 日~12 月 15 日
- 出港地~寄港地~帰港地の情報 JAMSTEC 横須賀~JAMSTEC 横須賀
- 調査海域名 北西太平洋-小笠原海溝
- 調査マップ

KR11-11 Izu-Ogasawara Trench ABISMO dive point



2. 実施内容

● 調査概要

本航海の目的は、水柱及び堆積物中の微生物生態系及び物質循環への海溝地形の影響を明らかにすることにある。KR07-17 航海にて、ROV ABISMO による堆積物採取を行った小笠原海溝最深部 (29° 09.00' N, 142° 48.12 ' E, 水深 9776 m) 及び海溝東縁にあたる深海平原 (29° 17' N, 143° 46' E, 水深 5747 m) にて計 3 度の ROV ABISMO による潜航調査を行った他、小笠原海溝最深部へカメラ付きランダーシステムを設置した。ROV ABISMO による潜航では、全ての潜航にて同 ROV に備えられたニスキンボトル (5L×10 本) による採水を行い、2 潜航にてグラビティコーアラ (2m) により堆積物を採取した。採取した試料については船上及び航海終了後に化学・微生物学解析を進める。また、カメラ付きランダーシステムには、採水器及び採泥器を装着し、海溝底堆積物表層での安定同位体インキュベーション実験を試みた。なお、同ランダーシステムは KR11-11 航海中に回収する予定であったが、かきれいに生じた故障の為、KR11-11 中の回収を断念し、よこすかによるドック回航 (JAMSTEC 横須賀～神戸、平成 23 年 12 月 22 日 -26 日) 中に回収することとなった。